

テーマ「初期臨床研修修了」

平成二十五年度からの2年間の初期臨床研修が本日修了します。2年前の4月、不安と緊張と期待の入り交じった表情で入社式をしたのが、つい、昨日のようです。今では色んな技術や知識が身に付き、患者さんにも頼られる存在になって来ているものと確信します。

しかし、医学は奥が広いし幅も広く、これで学ぶのは終わりというのが存在しません。日進月歩であるし、数年前に当たり前と思われたことが覆ることさえあります。常にアンテナを張り、それらに敏感に、しかし慎重に反応しなければならず、新しいことに振り回されず、的確に判断する能力も身につけなければなりません。相反することをきちんと理解し、自分のものとしなければなりません。今朝の「ICU回診」では、まだまだ勉強不足でした。何を学ぶべきかよく考えるように。3年目に入ると専門性が高まるけれど、自分の専門外の勉強も全く無駄にならず、どこかで役に立つはずですよ。

最後に、福岡新水巻病院初期臨床研修プログラムを修了するに当たって、お願いと言うか、これは守ってねと言うことを伝えて、はなむけの言葉としたいと思います。1.「驕らないこと」。3年目となるとかなり色々できるようになってきていると思う。しかし驕るなかれ、そんな調子でやつつけ仕事をやっていると必ずハマ、ポカ、うっかりミスをするよ。そうなればいちばん傷つくのは自分ではなく患者さんだよ。いつも緊張を持って行動すること。2.「威張らないこと」。威張って仕事をしている医者は格好悪い。いつも謙虚に科学者として地道に仕事をしてね。3.「人に優しくすること」。彼女や家族に優しくする以上に患者さんと家族の方、さらに職員に優しく、物腰を柔らかく、親身になって話を聞くこと。これは医師としてより人間としての徳です。

研修修了の皆さんの将来に栄光あれ。

平成二十七年三月十七日 藤井茂

第十一章

